

2021年8月発行 No.122

発行者 福田 雅祥 編集者 川内 活也

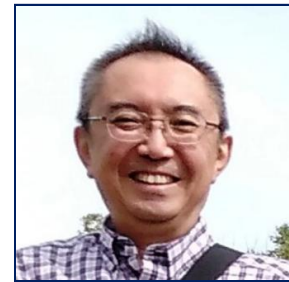
発行所 041-0806 函館市美原2丁目41番8号

函館美原キリスト教会内

<http://hokkaidobapjimbo.com> pw: jbc1947

## 【 巻頭言 】 協力して福音を宣べ伝える

まさよし  
連合会長 福田 雅祥  
(函館美原キリスト教会)



「すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。ところが、群衆のために近寄ることができないので、イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろした」

(マルコによる福音書2章3～4節／新共同訳)

私は、北海道バプテスト連合が、今のかたちのままで、その活動を維持し続けることは、早晚難しくなると考えています。

つまり、各委員会（HYP、音楽）や各会（教役者、壮年、女性信徒）、そして、研修センターなどが連合活動の柱となって、そこに活動費を配分して活動を推進していくというかたちは、おもに財政と人材の不足から、やがて難しくなると思います。

もちろん、いずれの活動もすべて大事なものです。それでも、今のまますべてを維持することは難しくなるでしょう。

しかし、私は、決してそれを悲観的にとらえている訳ではありません。それは、私たちが新しい連合のあり方を生み出していく大きなチャンスでもあると思っています。

私たちは、今まで当たり前に行ってきた様々なことの優先順位を見直し、連合の活動を再構築していく必要があると思います。それには、時間もかかるでしょう。しかし、それは、希望のある未来につながる道であり、刺激的な作業だと思っています。

そもそも連合は、何をすべきなのでしょう。連合が優先的にすべきことは何なのでしょう。もちろん、簡単に答えが出ることはありません。様々な意見が出て来ることでしょう。それを前提に、あえて私見を申し上げるならば、連合の活動の核心は、「協力して福音を宣べ伝える」ことにあると思います。

私が、「協力して福音を宣べ伝える」という言葉に込めているのは、教会と教会の小さな協力関係です。各個教会主義を標榜する私たちバプテストは、連合や

連盟が主体となって何かをしてくれるのを待つのではなく、各個教会が主体となって、どこかの教会—例えば隣の教会—と、小さな協力関係を築いていくことに力を入れたいと思います。そのような協力関係が、全道のあちらこちらで起こり、それを連合がサポートしていく。それが、私のイメージする連合のかたちです。

中風の者をイエス様に合わせようとした人々の知恵、行動力、大胆さ、勇気は、まさに協力の賜物であり祝福だと、私は考えています。ひとりではなかなかできないことです。本来の各個教会主義とは、各個教会の独立独歩の精神や他教会への

干渉を極度に嫌う体質ではないと思います。各個教会主義は、各個教会が主体的に他の教会との交流や協力、支援や扶助を選び取り、それを積極的に行うことだと思います。

是非、「私たちの教会は今、こういうことを必要としています」、「私たちの教会は今、こういうことなら協力できます」というマッチングが起こるような場を作りたいと思っています。そして、そのような教会間の協力があって、それを連合が全面的にサポートする、そういう連合になりたいと私は思っています。

## TOPIC

## 道南ブロック牧師家族会の報告

室蘭バプテスト・キリスト教会 吉田尚志

7月26日、道南ブロック牧師家族会が室蘭バプテスト・キリスト教会で行われました。

記録的な暑さの夏となっている北海道ですが、幸いにもこの日の室蘭は涼しい風を感じることに出来る束の間の避暑地となりました。

半日という限られた時間ではありましたが、お互いの近況を分かち合いつつ、“これからの伝道”というテーマのもとで新型コロナウイルスの状況下そして未来の教会像について各々の考えを共有することが出来ました。

その中で、教会が“礼拝共同体”というアイデンティティを持つ存在であることを再確認出来たことは、どのような状

況や時代においてもぶれない教会の“軸”を見つけた思いがしました。

夕方には、室蘭の名所と言われる“室蘭八景”を巡りながら、気持ちの良い海風と自然美溢れる景色を満喫しました。

新型コロナウイルスの影響下で制限付きの交流ではありましたが励ましに満ちたひと時でした。



# ようこそ！ 北海道バプテスト連合へ

## ～ 新規着任教役者のご紹介 ～

【 平岡ジョイフル・チャペル 牧師 】

2020年 3月就任



三上 章（みかみ あきら）

1949年美唄市生まれ。牧師歴はメルボルの Coburg Baptist Church→東京の日本基督教団足立梅田教会→北星学園大学チャプレン→東洋英和女学院大学宗教主任→ついに現教会。そのかたわら上記の大学、麗澤大学、東京女子大学で西洋古典学やキリスト教学を担当。学歴は弘前大学人文学部(西洋哲学)→オーストラリア神学学位授与機構大学院→東京大学大学院博士課程(西洋古典学)。筑波大学博士(文学)。聖書原典の入念な解明に基づいて、日本語聖書を自主独立に共同学習し、教養、文化、芸術などカルチャーの分野で地域社会のお役に立つこと、これが私の使命です。自宅の聖書・古典講読会や道新文化センターで、西洋古典語原典講読、聖書学講座、道元『正法眼蔵』講読を担当。毎週、当教会ホームページに聖書講話を更新中。

【 釧路教会 宣教師 】

2020年 5月就任



マシュー・チン・メイ・マン  
ダイアナ・ウオン・サン・サン

はじめまして。釧路キリスト教会の宣教師のマシュー（東マレーシア出身）です。コロナ下で主イエスを知ることによって、恵みと平和が、北海道バプテスト連合の皆様に豊かに与えられますように。（ペトロの手紙二1章2節）

私は、2020年5月から妻のダイアナ（東マレーシア出身）と一緒に釧路キリスト教会の宣教師として働いています。東マレーシアのシブメソジスト神学校を卒業しました。日本に来る前に、一年間伝道師として東マレーシアのサラワク州の山奥である伐採キャンペーンをしている教会で働きました。2018年にサラワクメソジスト教団から宣教師として、日本に派遣されました。そして、北九州YMCA学院で日本語を二年間勉強し、2020年3月に卒業しました。

私達の働きのためにお祈りによるお支えをよろしくお願いいたします。

【札幌教会 牧師】

2021年 4月就任



西本 詩生（にしもと しなる）

今年度から札幌バプテスト教会の牧師として赴任した西本詩生です。

昨年度まで、四年間、福岡の西南学院大学で学び、姪浜バプテスト教会と鳥栖キリスト教会で研修を重ねてきました。

出身教会は東京の恵泉バプテスト教会です。

趣味はスパイスの調合からはじめる本格カレー作りです。

カレー好きな私には、カレーの種類が豊富な北海道はとても刺激的で、発見が沢山あります。特にスープカレーは、私にとっては未知の領域で、その奥深さに圧倒されています。

様々なスパイスと材料で作られるカレーは、多様な人々が集められる教会に似ていると思うことがあります。ただし、教会の場合は、“調合”をするのは神様なのでしょうね。

カレーでなくても、食事を囲みながら連合の皆さんと信仰の交わりを持つときを楽しみにしています！

## 北海道バプテスト連合 2021年度総会決議報告

新型コロナ・ウイルス感染拡大の社会状況の中、昨年度に続き今年度の連合総会も、直接対面で集まる事が出来ませんでした。しかし、そのような状況の中でも最善を尽くし、オンライン会議システムを用いての「協議」と、下記議案を「文書決議」により諮る事が出来ました事を感謝し、ご報告いたします。

### ＜2021年度総会決議事項＞

#### 第1号議案

2020年度連合活動報告・決算

#### 第2号議案

2020年度連合決算報告、監査報告

#### 第3号議案

2021年度連合活動計画・予算案

#### 第4号議案

2021年度連合活動予算案

#### 第5号議案

連合規約改定

#### 第6号議案

リビングホープ教会の連合脱退

#### 第7号議案

2022年度定期総会日程・会場

#### 第8号議案

2021～22年度連合会計監査選出

#### 第9号議案

2022年度・総会役員選出

◆ 全議案、賛成多数により原案通りに可決されました。諸教会の総会参加協力（決議書送付）を感謝します！

【連合への諸送金のご案内】 ※取扱いはすべて「ゆうちょ銀行」となっています。

- |          |           |                |                |
|----------|-----------|----------------|----------------|
| ◎ 協力伝道献金 | <名義・記号番号> | 北海道バプテスト連合     | 19000—17922911 |
| ◎ 災害対策募金 | <名義・記号番号> | 北海道連合災害対策委員会   | 19000—21316651 |
| ◎ 教役者会費  | <名義・記号番号> | 北海道バプテスト連合教役者会 | 19060—51722781 |